

「コストプラスフィー契約に関する報告書」説明会のご案内

(1) 開催主旨

建設マネジメント委員会（委員長三百田敏夫）では、我が国の建設事業に係る公共調達のあり方について様々な観点から研究活動を行っております。また、2012年6月に改正品確法が施行され、これまで以上に公共事業において多様な入札契約方式の適用が可能となりました。当委員会では、「契約約款企画小委員会」及び「契約約款制定小委員会」を設置し、発注者の負担を軽減し、その普及に資するため、新たな契約方式に対応した標準的な契約図書を策定することとしました。2012年には設計・施工一括発注方式を対象とした「公共土木設計施工標準請負契約約款」、2016年にはピュア型CM方式を対象とした「監理業務標準委託契約約款」及び「監理業務共通仕様書」を制定し、公表してきました。

これらに引き続き、契約約款企画小委員会では、技術提案交渉方式を導入する際や工事価格の透明性の向上を期待する場合等に、コストプラスフィー契約とオープンブック方式を組み合わせるニーズがあるとの認識から、公共土木事業においてこれらを適用する際に必要となる契約図書の検討を行い、2017年12月に報告書を取りまとめ、本年1月に公表しました。この報告書の内容について説明会を開催するものです。

ご関心のある皆様の奮っての参加をお願い申し上げます。

(2) 開催日時：2018年3月6日（火）13：00～14：30（受付12：30～）

(3) 開催場所：土木学会 講堂

(4) プログラム

（受付） 12：30～

（開会） 13：00

13：00～13：15 挨拶・趣旨説明（契約約款企画小委員会小委員長 小澤 一雅）

（説明会） 説明者 建設マネジメント委員会契約約款企画小委員会

13：15～13：35 2. コストプラスフィー契約とは

13：35～14：05 3. コストとフィーの境界の設定方法

4. オープンブック方式に基づく支払い方法

14：05～14：15 5. 既済部分検査を行わずコストプラスフィー方式の支払いを可能とする方策の検討

14：15～14：30（質疑応答）

（開会） 14：30

(5) 参加費：無料